

付録 1 小樽市のあゆみ

西暦	元 号	主 な 出 来 事
1865	元治 2 年	幕府は「オタルナイ」を村並とする。
1869	明治 2 年	開拓使を置き「蝦夷」を改め「北海道」と称し、「オタルナイ」を「小樽」と改める。
1872	5 年	小樽郵便局開設。
1874	7 年	小樽～札幌間電信線路完成。手宮、小樽、銭函に教育所を設置。
1880	13 年	手宮(小樽)－札幌間鉄道開通。
1881	14 年	明治天皇北海道御巡幸、小樽に御上陸。
1883	16 年	小樽港外祝津に日和山灯台開設。
1889	22 年	特別輸出港となる。
1893	26 年	日本銀行派出所開設。
1896	29 年	小樽商業会議所(現小樽商工会議所)設置。
1899	32 年	区制施行される。外国貿易港(開港)に指定される。
1900	33 年	市内電話開通。
1904	37 年	稲穂町大火。
1905	38 年	函館本線全通。
1908	41 年	北防波堤完成。
1911	44 年	小樽高等商業学校(現小樽商科大学)開校。
1914	大正 3 年	上水道工事完成。小樽運河埋立工事(第1期)着工。
1916	5 年	小樽為替貯金支局(現小樽貯金事務センター)開設。
1920	9 年	第1回国勢調査実施。世帯数 21,276戸、人口 108,113人を数える。
1921	10 年	南防波堤完成。
1922	11 年	市制施行される。(8月1日)
1923	12 年	第1回全日本スキー大会開催。小樽運河埋立工事(第1期)完成。
1924	13 年	手宮駅構内で火薬大爆発。
1926	15 年	第2期防波堤工事完成。
1927	昭和 2 年	朝里川上水道工事完成。
1931	6 年	小樽海港博覧会開催。
1933	8 年	小樽－札幌間国道完成。市庁舎完成。
1936	11 年	昭和天皇御巡幸。
1937	12 年	開道70年北海道大博覧会開催。
1940	15 年	高島町、朝里村を合併。第1号ふ頭完成。
1947	22 年	市長公選制となる。
1948	23 年	市消防本部発足。
1949	24 年	開港50周年記念「港まつり」開催。
1954	29 年	朝里川温泉郷を開発。第9回国民体育大会を開催し、昭和天皇・皇后両陛下をお迎えする。
1956	31 年	稲穂町大火で色内小学校、石山中学校を焼失。博物館開館。産業会館完成。
1958	33 年	塩谷村を合併。北海道大博覧会を開催(祝津)水族館開館。
1959	34 年	市営朝里川温泉センター開館。市営青果物市場開設。
1961	36 年	市商工会館完成。
1962	37 年	豊倉浄水場通水。台風9、10号により大被害を受ける。市役所新庁舎完成。
1963	38 年	青少年科学技術館開館。市民会館完成。「ニセコ・積丹・小樽海岸国定公園」に指定される。
1964	39 年	新産業都市に指定される。国鉄高架橋 小樽－南小樽間完成。
1965	40 年	開基100年記念式典開催。市民憲章制定。
1966	41 年	ソ連のナホトカ市と姉妹都市提携。
1967	42 年	第1回「潮まつり」開催。銭函浄水場完成。第3号ふ頭延長工事完成。
1968	43 年	勤労青少年ホーム完成。国鉄(現JR)小樽－滝川間電化。
1969	44 年	小樽港開港70周年記念式典開催。
1970	45 年	新日本海フェリー「すずらん丸」就航。天神浄水場完成。特別養護老人ホーム「やすらぎ荘」完成。
1971	46 年	常盤ダム完成。札幌自動車道開通。総合福祉センター完成。礼文塚衛生処理場完成。保健所新庁舎完成。
1972	47 年	中央ふ頭完成。市制50周年記念式典開催。
1973	48 年	公設青果地方卸売市場完成。桂岡住宅団地造成事業完成。
1974	49 年	北海道薬科大学開学。総合体育館開館。小樽第二病院完成。駅前再開発事業第一ビル完成。
1975	50 年	勤労婦人センター(現勤労女性センター)完成。第1回ウインターフェスティバル開催。駅前再開発事業第二ビル完成。
1976	51 年	銭函市民センター完成。市役所分庁舎(旧貯金局)開設。稲穂駐車場完成。駅前再開発事業第三ビル完成。室内水泳プール開館。
1977	52 年	道立小児総合保健センター開設。鉄道資料館開館。廃棄物処理場完成。

西暦	元 号	主 な 出 来 事
1978	昭和 53 年	プラスチックジャンプ台(潮見台記念ジャンツェ)完成。第1回ボートフェスティバル開催。 市立小樽文学館(分庁舎)開館。公設水産物地方卸売市場完成。
1979	54 年	市立小樽美術館(分庁舎)開館。故 元市長 安達 與五郎氏に初の名誉市民称号贈呈。塩谷合同庁舎完成。
1980	55 年	第35回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催。勝納ふ頭完成。 おたる望洋パークタウン造成事業着工。北海道鉄道開通100年記念式典開催。ダニーデン市(ニュー ジーランド)と姉妹都市提携。色内地区用地造成事業完成。かつない臨海公園完成。
1981	56 年	利尻・礼文航路にフェリー「おたる丸」就航。おたる望洋パークタウン分譲開始。
1982	57 年	市制施行60周年。身体障害者福祉センター完成。塩谷児童センター完成。 特別養護老人ホーム「望海荘」完成。石狩湾新港に第1船入港。
1983	58 年	市立小樽図書館改築開館。道立中央乳児院完成。消防本部新庁舎完成。
1984	59 年	望洋台小学校開校。中央下水終末処理場一部供用開始。'84小樽博覧会を開催。 銭函土地区画整理事業に本格着手。産業廃棄物処分場供用開始。新光大橋開通。
1985	60 年	長橋バイパス建設工事着工。歴史的建造物指定開始。新博物館の開館。第1回小樽国際音楽祭開催。
1986	61 年	小樽運河散策路完成。地方都市中心市街地活性化(シェイプアップマイタウン)計画のモデル都市に指定。 “おたる自然の村”オープン。北海道職業訓練短期大学校が総合高等訓練校から転換開校。朝里ダムに ループ橋(朝里スカイループ)開通。小樽運河周辺地区色内大通・緑山手地区を景観地区に指定。
1987	62 年	郵トピア構想モデル都市に指定。昭和62年度全国高等学校総合体育大会開催(体操及び新体操競技)。 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店修復工事竣工。
1988	63 年	SL(C62-3)が復活。美術館 中村 善策記念ホールオープン。銭函下水終末処理場建設工事着工。 都市景観賞を創設。
1989	平成 元 年	小樽市新総合計画策定。はまなす国体体操競技会開催。小樽港開港90周年。長橋バイパスが部分開通。
1990	2 年	小樽市観光物産プラザ(運河プラザ)開館。望洋台中学校開校。小樽港マリーナオープン。第1回伊藤整 文学賞贈呈式。稲一地区再開発ビル(A棟)完成。銭函下水終末処理場供用開始。
1991	3 年	市民消防防災センター完成。新葬斎場完成。石狩湾新港小樽市域樽川ふ頭供用開始。 稲一地区再開発ビル(B棟)完成。
1992	4 年	景観条例制定。市制70周年記念式典開催。市道塩谷蘭島山手通線の全線供用を開始。 札幌自動車道が道央自動車道と直結。
1993	5 年	新夜間急病センター完成。第8回海の祭典開催。広域農道全線開通。朝里ダム完成。利尻・礼文航路廃止。
1994	6 年	小樽市老人保健福祉計画策定。新日本海フェリー新ターミナルビル完成と新造船就航。 高島小学校温水プール完成。朝里ダム湖畔園地オープン。第25回全国中学校体操競技・新体操選手権 大会開催。国道5号長橋バイパス全線開通。小樽築港駅周辺地区土地区画整理事業の区域決定。
1995	7 年	小樽市消防署庁舎完成。小樽市民センター完成。小樽・コルサコフ間定期航路開設。 生涯学習プラザ完成。蘭島下水終末処理場(一部)完成、供用開始。
1996	8 年	観測史上最高の降雪を記録(1月9日)。小樽交通記念館がオープン。情報公開制度がスタート。 日ロフェリー 小樽～ホルムスク間新規就航。小樽築港駅周辺地区再開発事業の基盤整備に着手。 小樽市駅横駐車場を開設。
1997	9 年	小樽市新行政改革大綱を策定。パナマックス級船舶が初入港。ふれあいバス(バス無料乗車証など)の 交付を開始。長橋なえぼ公園がオープン。新しい総合計画「市民と歩む 21世紀プラン」基本構想議決。 おたる自然の村にパークゴルフ場オープン。小樽築港駅周辺地区再開発地区内で小樽ベイシティ建設 工事に着手。小樽市リサイクルセンターがオープン。
1998	10 年	小樽市総合計画「市民と歩む 21世紀プラン」スタート。朝里川公園全面オープン。中央地区再開発ふ頭の 第1期工事供用開始。小樽市望洋ジャンツェ完成。ダニーデン市入植150周年記念小樽市民親善使節団 派遣。小樽市はつらつ長寿憲章を制定。運河公園完成。
1999	11 年	第1回“小樽雪あかりの路”開催。小樽市消防署銭函支署新庁舎完成。第54回国民体育大会冬季大会 スキー競技会(みなと・おたる国体)開催。小樽築港駅周辺地区(ばるて築港)にマリンロード、JR小樽築港 駅新駅舎、複合商業施設などがオープン。小樽市児童育成計画(エンゼルプラン)を作成。 港町ふ頭供用開始。小樽港開港100周年記念式典開催。築港臨海公園がオープン。 いなきたコミュニティセンター、いなきた児童館がオープン。
2000	12 年	小樽市高齢者保健福祉計画および小樽市介護保険事業計画を策定。小樽・サハリン州ホルムスク間日ロ 定期フェリー再開。小樽市廃棄物最終処分場(桃内)完成・供用開始。道道小樽定山溪線(ゆらぎ街道) 通年開通。全市で資源物の分別収集がスタート。小樽市中学校適正配置計画実施計画を策定。 手宮公園競技場の整備事業が完了。市議会広報紙「おたる議会だより」を創刊。
2001	13 年	子育て支援センター「げんき」オープン。国道5号(朝里～銭函間)の車道部分4車線供用開始。「高島越後盆 踊りの行事」を小樽市無形民俗文化財(年中行事)に指定。小樽まち育て情報センター開設。港町1号上屋 の供用開始。手宮線跡地をオープンスペースに整備。色内ふ頭公園整備工事が完了し供用開始。 旧手宮鉄道施設が国指定の重要文化財に指定。

付録 1 小樽市のあゆみ (つづき)

西暦	元 号	主 な 出 来 事
2002	平成 14 年	第1回スノーワンダーランドin望洋シャンツェ開催。新赤岩保育所オープン。おたる無尽ビルが歴史的建造物に指定される。銭函パークゴルフ場オープン。小樽市市制80周年記念行事を開催。「義経号」と「しづか号」が22年ぶりに再会。小樽・中国定期コンテナ航路開設。知恵のまちづくり・全国都市フォーラム開催。
2003	15 年	小樽フィルムコミッションの設立。日本銀行旧小樽支店が金融資料館としてオープン。おたる健康総合大学がスタート。新市立病院基本構想を策定。小樽駅開業100周年を記念して「裕次郎ホーム」誕生。第41回北海道障害者スポーツ大会が開催。第1回世界職人学会in北海道が開催。港町ふ頭でタイヤマウント式ガントリークレーン供用開始。
2004	16 年	実質的な赤字予算が市議会で可決される。中央通の拡幅工事が完了。小泉総理大臣が視察のため来樽。小樽～ホルムスク旅客航路を開設。市営勝納住宅2号棟完成。小樽港縦貫線平磯岬新ルート開通。台風18号により市内に被害。北しりべし廃棄物処理広域連合ごみ処理施設着工。
2005	17 年	キッズベンチャー全国大会が開催。おたる水族館が「冬季特別営業」実施。家庭ごみ減量化・有料化スタート。16年度一般会計が27年ぶりの赤字決算。望洋サッカー・ラグビー場オープン。北防波堤改良工事着手。小樽港入港外国船籍4万隻達成。子育て支援施設「あそびの広場」が銭函にオープン。小樽ロングクリスマス開催。
2006	18 年	観測史上2番目の最深積雪172センチメートルを記録。市立堺小学校を閉校。北海道横断自動車道(余市～小樽間)事業着手。小樽観光大学校を設立。小樽・ソウル特別市江西区の友好親善協会が友好交流協定を締結。小樽公園「こどもの国」閉園。小樽市青少年科学技術館閉館。
2007	19 年	北後志6市町村のごみを処理する「北しりべし広域クリーンセンター」が本格稼働。室内水泳プールが閉館。総合博物館がオープン。市営オタモイ住宅2号棟が完成。小樽公園内「こどもの国」跡地に設置した新遊具の供用を開始。旧手宮線を含む鉄道施設群が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定される。
2008	20 年	小樽短期大学閉学式。小樽商科大学と小樽市が包括連携協定に調印。市議会で初のナイター議会を実施。榎本武揚没後100年記念事業。北海道洞爺湖サミット記念植樹祭。「小樽観光都市宣言～“今こそ”の心意気」を宣言。市立小樽文学館開館30周年。
2009	21 年	ソウル特別市江西区と友好都市を提携。小樽市総合計画「第6次小樽市総合計画」スタート。「北しりべし定住自立圏構想」中心市宣言。新小樽駅前第3ビル「サンビルスクエア」がオープン。アイアンホース号生誕100年祭記念式典開催。
2010	22 年	北しりべし定住自立圏形成協定合同調印式。ソウル特別市江西区と姉妹都市提携。ダニーデン市姉妹都市提携30周年。新小樽地方合同庁舎が完成。
2011	23 年	市立小樽文学館・美術館を再整備。一原有徳記念ホールを開設。小樽商科大学が創立100周年。奥沢ダムの廃止を決定。
2012	24 年	小樽・伏木富山・京都舞鶴の3港で「環日本海クルーズ推進協議会」を設立。JR小樽駅の改築工事が終了し、駅なかマート「タルシェ」がオープン。小樽市市制90周年記念行事として、航海訓練所練習船「日本丸」が入港。
2013	25 年	北海道・北海道電力(株)・後志管内16市町村が「泊発電所周辺の安全確認等に関する協定」を締結。「運河のまち」である愛知県半田市、宮崎県日南市と小樽市が『災害時相互応援協定』を締結。夜間急病センターを住ノ江1丁目目新築移転。老朽化した新光・オタモイ両共同調理場を統合した新たな「学校給食センター」が真栄1丁目目完成。小樽・ウラジオストク間にRO-RO船定期航路が開設。
2014	26 年	小樽市自治基本条例施行。新観光船「あおぼと」が就航。伊藤整文学賞25年の歴史に幕。戸籍事務を電算化。二つの市立病院を統合し、新たに小樽市立病院を開院。
2015	27 年	陸上自衛隊第11特科隊・積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村と「大規模災害時等の連携に関する協定」を締結。小樽市いじめ防止対策推進条例を制定。小樽市生活サポートセンター「たるさぼ」オープン。小樽市総合戦略を策定。
2016	28 年	手宮中央小学校が開校。おたる潮まつりが50回目の開催。市立図書館が開館100周年。ロシア・ナホトカ市との姉妹都市提携が50周年。使節団が来樽。旧国鉄手宮線散策路完成。
2017	29 年	消防署オタモイ支署が開署。北陵中学校が開校。石原裕次郎記念館閉館に伴い、寄贈された裕次郎さんの愛車(ロールス・ロイス)を総合博物館本館で展示。
2018	30 年	山の手小学校が開校。北海道小樽未来創造高校が開校。日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定。「小樽の鉄道遺産」が北海道遺産に認定。後志自動車道余市IC～小樽JCTが開通。
2019	令和 元 年	「炭鉄港」が日本遺産に認定。新造船のひき船「たていわ丸」が就航。小樽港開基150周年・開港120周年記念行事を開催。第7次小樽市総合計画(基本計画)を策定。
2020	2 年	公共施設再編計画を策定。小樽港にフェリーが就航して50周年。図書館が改修してリニューアルオープン。子育て世代包括支援センター「にこにこ」が保健所にオープン。
2021	3 年	小樽市消防署手宮支署が開庁。国道5号桃内～塩谷間に「塩谷トンネル」が開通。最高気温が小樽観測史上最も高い36.2度を記録。北海製罐株式会社小樽工場第3倉庫が市へ無償譲渡。
2022	4 年	小樽市が市制施行から100年を迎える。小樽市公設青果地方卸売市場を廃止。北海道新幹線の並行在来線、JR函館線長万部～小樽間のバス転換が決定。